

船舶インシデント調査報告書

令和2年1月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	令和元年8月29日 11時35分ごろ
発生場所	沖縄県糸満市喜屋武埼西南西方沖 喜屋武埼灯台から真方位263° 3.5海里付近 （概位 北緯26° 04.4′ 東経127° 36.3′）
インシデントの概要	プレジャーボートOcean dream 25は、漂泊中、主機の運転ができなくなり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和元年9月9日、主管調査官（那覇事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート Ocean dream 25、2.4トン 296-25276 沖縄、個人所有 ディーゼル機関、4サイクル、出力69.90kW、回転数毎分3,400、4気筒、ボア84mm、使用燃料軽油
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東南東、風力 3、視界 良好 海象：波高 約1.0m
インシデントの経過等	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、釣りをしながら漂泊中、釣り場を移動する目的で何度か主機の始動及び停止を繰り返した後、主機を始動したが、冷却清水温度の高温警報音が鳴り、確認したところ、冷却海水出口から海水が出ていないことを認め、主機を停止した。</p> <p>船長は、主機の点検を行ったところ、冷却海水ポンプのゴム製インペラが破損しているのを認めた。</p> <p>本船は、運航不能となり、仲間の船にえい航されてマリーナに戻った。</p> <p>本船は、冷却海水ポンプのゴム製インペラが約3年前に新替えされていたが、その後、点検及び交換が行われていなかった。</p> <p>船長は、冷却海水ポンプの予備のゴム製インペラ及び一般の工具を保有していたが、専用の工具がなかったので、交換できなかった。</p>
分析	<p>本船は、冷却海水ポンプのゴム製インペラの点検及び交換が約3年間行われていない状況下、漂泊中に同インペラが経年劣化によって破損したことから、冷却海水が供給されなくなって主機の運転ができなくなり、運航不能となったものと考えられる。</p> <p>本船は、冷却海水ポンプのゴム製インペラの予備品を保有していた</p>

	ものの、専用の工具がなく、予備品に交換できなかったものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、冷却海水ポンプのゴム製インペラの点検及び交換が約3年間行われていない状況下、漂泊中、同インペラが経年劣化によって破損したため、冷却海水が供給されなくなって主機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冷却海水ポンプのゴム製インペラは、適切な時期に点検及び交換を行うこと。 ・ 予備品に対応する専用の工具を船内に備えること。